

令和3年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

音 楽

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから4ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

1 次の楽譜について、後の(1)～(6)の問いに答えなさい。

- (1) ①、②に示した記号の名称を答えよ。また、意味を簡潔に説明せよ。
- (2) ③、④の部分の転回音程を答えよ。
- (3) この楽曲の作曲者名とその作曲者が活躍した国名を答えよ。
- (4) この楽曲の作曲者のように、自国の物語や民謡などを基に民族色豊かな作品を作曲した作曲家達を総称して、何と呼ぶか答えよ。また、それらの作曲家のうち、この楽曲の作曲者以外の代表的な作曲家を1人挙げ、その主要な作品を答えよ。
- (5) この楽曲の説明として正しいものを、次のア～オの説明から1つ選び、記号で答えよ。
  - ア ゲーテの詩を原作として音詩化された管弦楽曲
  - イ 北欧の神話や伝説、ドイツの叙事詩をもとに作曲された楽劇
  - ウ 一部に歌詞がつけられ、第2の国歌として歌われている愛国的な交響詩
  - エ 同一のリズムの繰り返しと色彩感にあふれる管弦楽法が特徴的な管弦楽曲
  - オ 自然の様々な姿を見事に音響化した3つの楽章の交響詩
- (6) この楽曲を扱って歌唱の指導を行いたい。[ ]で囲った部分を解答用紙に示された調性で、混声三部合唱に編曲せよ。なお、歌詞は不要とする。

2 次の(1)～(7)の問いに答えなさい。

(1) 次の①～⑤について説明せよ。

- ① カデンツァ ② 押し手 ③ tempo rubato ④ 組踊 ⑤ 知的財産権

(2) 次の①～⑤の楽器について、音を作り出す仕組みの視点から、A…気鳴楽器、B…体鳴楽器、C…弦鳴楽器、D…膜鳴楽器に分類し、記号で答えよ。

- ① 揚琴 ② ウード ③ ジェンベ ④ ゴングアグン ⑤ サンポーニャ

(3) 三味線を「二上がり」に調弦したとき、①一の糸と二の糸、②二の糸と三の糸の音程を答えよ。

(4) バロック時代の宮廷音楽における「古典組曲」を構成する4つの舞曲を演奏される順に答えよ。

(5) 次の①～⑤の語について、その説明をA群から、最も関わりのある語をB群から1つずつ選び、記号で答えよ。

- ① ノンアク ② メヘテルハーネ ③ バロン・ダンス ④ 催馬楽 ⑤ サンバ

#### A群

- ア <sup>すきのおのみこと</sup>素戔鳴尊による「<sup>やまたのおろち</sup>八岐大蛇退治」の神話を神社の神楽殿で奉納する神楽。  
イ ティンパニヤやシンバルを含んだ楽器が使用される、オスマン帝国時代の軍楽隊。  
ウ 複数の打楽器が2拍子の各固有のリズムパターンを持ち、アフリカ由来の舞踊音楽とヨーロッパの舞踊音楽が混交した民族舞踊。  
エ バリ島にあるヒンドゥー教の寺院に奉納される有名な舞踊劇。  
オ チャンゴをはじめとする打楽器を打ち鳴らしながら勇壮に踊る民俗芸能。  
カ 平安時代の民謡や流行り歌を雅楽に取り入れた歌曲。

#### B群

- a 伊勢の海      b ガムラン      c リオ・デ・ジャネイロ      d 朝鮮半島  
e トルコ行進曲      f 長崎くんち

(6) 完全5度の音程関係にある2音について、①その周波数の比を整数で答えよ。また、この2音のように、②周波数の比が単純な整数比で表される音律を何というか答えよ。

(7) 舞台芸術の起源やその音楽に関する次の文章について、 ～  に当てはまる語を答えよ。

「オペラ」は、1600年前後にイタリアの で生まれた総合芸術である。19世紀に流行した会話劇の「オペラ・コミック」やウィーンで流行した を起源を持つ「ミュージカル」は、基本的にはポピュラー・ソングの発声法が用いられる。

一方、日本の舞台芸術の一つである「能楽」は、 と世阿弥の父子によって基本的な形が整えられた「能」と、風刺にあふれた台詞を中心とする「狂言」とを総称したものである。また、「能楽」や「文楽」などの要素を取り入れ発展した「歌舞伎」の演目には、史実を下敷きとした「時代物」と、当時の世相を描写した「」があり、音楽は、長唄、常磐津節、清元節、義太夫節など、演目によって様々な種類が演奏される。

- 3 『アヴェマリア』（カッチーニ伝）を扱う学習について、次に示す楽譜を参考に、後の(1)～(4)の問いに答えなさい。

The image shows a musical score for 'Ave Maria'. At the top left, there is a guitar chord diagram for Em (E minor), with notes E, G, and B on the strings. Below this, the vocal line is written in treble clef with a key signature of one sharp (F#) and a 4/4 time signature. The lyrics are 'A ve Ma ri a'. The piano accompaniment is written in grand staff (treble and bass clefs). Three specific measures in the piano part are marked with circled numbers 1, 2, and 3, corresponding to the vocal line.

- (1) ピアノの声部を基に、ギターでコード伴奏する「器楽」の学習を行いたい。楽譜中の①～③に記載するコードネームとダイアグラム譜を書き、楽譜を完成させよ。なお、ダイアグラム譜における記号は、●…そのフレットを押さえて弾く、○…開放弦で弾く、×…弾かない、とする。
- (2) Vocal の旋律を用いた「歌唱」の学習を行いたい。
- ① 中音域から高音域への指導をするため、ギターの伴奏を完全4度上げたい。カポタストを装着するフレットを答えよ。
- ② 楽曲にふさわしい発声となるよう、身体の使い方について次の声掛けをする際、a 及び b に適する語を答えよ。また、身体の使い方についてこのように指導する理由を簡潔に説明せよ。

(声掛け)  
口と喉を開け、口腔や a を広げてみましょう。また、b は上げて、舌は下げましょう。

- (3) Vocal の旋律に対し、副次的な旋律 (Vocal 2) を付ける「創作」の学習を行いたい。
- ① 生徒に提示する作例のうち、Vocal 2 が主旋律に対してポリフォニックな旋律となるものを作成せよ。なお、歌詞は不要とする。
- ② この副次的な旋律を作成するに当たり、工夫した点を説明せよ。
- (4) 「高等学校学習指導要領解説芸術（音楽）編」（平成30年7月）における芸術科「音楽I」の「3 内容」のうち「A表現」において、Vocal の旋律と(3)の学習で創作した副次的な旋律 (Vocal 2) を扱う「歌唱」の学習について、下記の事項を指導する指導計画を作成せよ。指導時間は2時間計画（1単位時間は50分とする。）とし、題材名、題材のねらい、1時間当たりのねらい、主な学習活動を含むものとする。

ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫すること。

イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。

ウ 様々な表現形態による歌唱表現の特徴

エ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。

オ 表現形態の特徴を生かして歌う技能 （一部抜粋）

- 4 次の資料1、2は、「高等学校学習指導要領解説芸術（音楽）編」（平成30年7月）における芸術科「音楽I」の「3 内容」のうち、「B鑑賞」及び「共通事項」に関する記述の一部である。後の(1)～(3)の問いに答えなさい。

資料1

(1) 鑑賞

鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くこと。

(ア) 曲や演奏に対する  とその根拠

(イ) 自分や  にとっての音楽の意味や

(ウ) 音楽表現の共通性や固有性

イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。

(ア) 曲想や表現上の効果と音楽の  との関わり

(イ) 音楽の  と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり

(ウ) 我が国や  の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴

資料2

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。

(1)  ～  に適する語を入れよ。

(2) 資料1の \_\_\_\_\_ について、生徒に新たな知識を習得させるに当たって留意すべき点を述べよ。

(3) 資料2に示した「共通事項」の学習を支えとして、資料1のア(ウ)を扱う鑑賞の指導を行いたい。

① 資料1の \_\_\_\_\_ について、説明せよ。

② 資料2の \_\_\_\_\_ の指導に当たって留意すべき点を述べよ。

③ 指導で扱う主な教材を設定し、その教材を設定した理由、指導に用いるワークシートを作成せよ。

科目	音楽解答用紙	3枚中の1	受験番号		氏名	
----	--------	-------	------	--	----	--

(3年)

1

(1)	① 名称	意味	
	② 名称	意味	
(2)	③	④	
(3)	作曲者	国	
(4)	名称	作曲者	作品
(5)			
(6)	Soprano		
	Alto		
	Male		
	Sop. Alt.		
	M.		

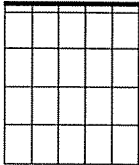
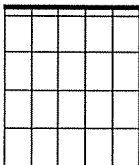
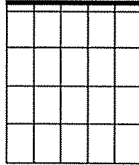

2

(1)	①					
	②					
	③					
	④					
	⑤					
(2)	①	②	③	④	⑤	
(3)	①		②			
(4)	→ → →					
(5)	①	②	③	④	⑤	
(6)	①		②			
(7)	a		b		c	d

科目	音楽解答用紙	3枚中の2	受験番号		氏名	
----	--------	-------	------	--	----	--

(3年)

3

(1)	①	②		③
				
(2)	①			
	② a	b	理由	
(3)	①			
	②			

(4)	
題材名	
ねらい	
時間	〈ねらい〉と〈主な学習活動〉
1	〈ねらい〉
	〈主な学習活動〉
2	〈ねらい〉
	〈主な学習活動〉

科目	音楽解答用紙	3枚中の3	受験番号		氏名	
----	--------	-------	------	--	----	--

(3年)

4

(1)	a	b	c	d	e	f
(2)						
(3)	①					
	②					

(3)③

主な教材	
教材設定の理由	
ワークシート	



以下はあくまでも解答の一例です。

科目	音楽解答用紙	3枚中の1	受験番号	氏名	(3年)
----	--------	-------	------	----	------

20点

(1)	① 名称 ア・ドウエ	1	意味 (例) 2管編成のオーケストラにおいて1声部を2つの楽器で奏すること。		1
	② 名称 トレモロ	1	意味 (例) 同じ音や2音を小刻みに反復しながら継続する奏法のこと。		1
(2)	③ 減5度	1	④ 短6度	1	
(3)	作曲者 シベリウス	2	国 フィンランド	2	
(4)	名称 国民楽派	1	作曲家 (例) ドヴォルジャーク	1	作品 (例) スラヴ舞曲集 1
(5)	ウ	1			
(6)	<p>(例)</p>				6

30点

(1)	① (例) 協奏曲で、独奏者が伴奏なしで華やかな技巧を示す場所。		2		
	② (例) 箏の奏法で、柱の左側部分で弦を軽く押しさげ、音を高める左手手法。		2		
	③ (例) 速度の変化を示す用語で、「テンポを柔軟に伸縮させて」の意。		2		
	④ (例) 沖縄諸島の古典曲を用いた伝統的な楽劇。		2		
	⑤ (例) 知的な創作活動によって何かをつくり出した人に対して付与される、他人に無断で利用されない権利。		2		
(2)	① C 1	② C 1	③ D 1	④ B 1	⑤ A 1
(3)	① 完全5度 1		② 完全4度 1		
(4)	アルマンド → クーラント → サラバンド → ジーグ				2
(5)	① オ d 1	② イ e 1	③ エ b 1	④ カ a 1	⑤ ウ c 1
(6)	① 2 : 3 1		② 純正律 1		
(7)	a フィレンツェ 1	b オペレッタ 1	c 観阿弥 1	d 世話物 1	

以下はあくまでも解答の一例です。

科 目	音楽解答用紙	3枚中の2	受験番号	氏 名
--------	--------	-------	------	--------

(3年)

27点  
3

(1)	① Am 7 1	② D 7 1	③ G 1
(2)	① 第5フレット 1		
	② a (例) 鼻腔 1	b (例) 軟口蓋 1	理由 (例) 体内の共鳴腔に声帯の振動を共鳴させて音を増幅させるため。 2
(3)	① (例) 		
	② (例) 音の動きが少ない主旋律に対照的な副次的な旋律にするため、八分音符を主としたリズムとし、反復、変化を意識できるものとした。 2		
(4)			
題材名	(例) 旋律の重なりを味わって歌おう	1	
ねらい	(例) 様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解し、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、イメージをもって歌唱表現を創意工夫して歌唱する。	2	
時間	〈ねらい〉と〈主な学習活動〉		
1	〈ねらい〉(例) 様々な表現形態による歌唱表現の特徴に気づき、二重唱にふさわしい歌い方について考える。		1
	〈主な学習活動〉(例) ・校歌をクラス全体で二部合唱や斉唱で歌ったり、グループ内で独唱や二重唱で歌ったりして、様々な表現形態による響きの特徴に気付く。 ・Ave Mariaを二重唱で歌うためにふさわしい歌い方(一体感のある音色や全体的な調和など)について、個人やペアで試して歌ったり、歌ったことを基に考えを共有したりする。 ・上記の学習内容をクラス全体で共有し、いくつかの歌い方を歌って試す。		3
2	〈ねらい〉(例) ・独唱と二重唱についてのイメージを持ち、音色や響きを感じながら、独唱や二重唱で歌唱する。		1
	〈主な学習活動〉(例) ・Ave Mariaを4つの部分に分け、それぞれが独唱する2部分と二重唱する2部分を設定し、どんな風に歌いたいかを実際に歌いながら考える。 ・Ave Mariaを、互いの声の音色や響きを感じ取りながら音色や響きを近づけて歌えるよう練習する。 ・どんな風に歌いたいかを口頭発表してから、ペアで独唱と二重唱で歌唱発表する。		3

以下はあくまでも解答の一例です。

科目	音楽解答用紙	3枚中の3	受験番号		氏名	
----	--------	-------	------	--	----	--

(3年)

23点

4

(1)	a 評価 1	b 社会 1	c 価値 1	d 構造 1	e 特徴 1	f 郷土 1
(2)	(例) あらかじめ必要な知識を習得してから音楽のよさや美しさを味わって聴くといったような一方向のみの指導にならないよう留意する。 3					
(3)	① (例) 様々な音楽が、どのようにつくられているか、どのように演奏されているかについて、複数の音楽に共通して見られる表現上の特徴、あるいは、ある音楽だけに見られる表現上の特徴などのこと。 3					
	② (例) 様々な要素が関連し合っって音楽が形づくられていることに十分留意しつつ、どの要素を学習の対象にするのかを明らかにすること。 3					

(3) ③

主な教材	(例) 様々な時代の鍵盤楽器（チェンバロ、ピアノ）による独奏曲	1
教材設定の理由	(例) 様々な時代の鍵盤楽器による独奏曲を聴き、それぞれの楽器の音色や旋律に使われている音域、強弱の有無について比較しながら、音楽表現の共通性や固有性を考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く学習にふさわしいため。	2

ワークシート

(例)

1 以下の3曲を聴いて、それぞれの視点から、聞き取ったこと（上段）や感じ取ったこと（下段）、全体の印象をまとめよう。

	音色	強弱	旋律の動きや音域	全体の印象
クラブサン曲集 (ラモー)				
ピアノソナタ (モーツァルト)				
ラ・カンパネッラ (リスト)				

2 1でまとめた内容について、複数の楽曲に共通する特徴やその曲だけの特徴を、下の図に整理しよう。

